

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		スペースについては、国の定める基準では児童一人当たり2.47㎡となっており、基準以上のスペースが確保されております。	利用人数や療育内容によって机の配置を工夫したり、パーテーションを使用して落ち着いた活動ができるよう、環境づくりに努めております。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して職員の配置数は適切であるか。	7		国の基準では、1つの事業所に児童発達支援管理責任者・管理者を2名以上配置し、職員数は児童10名までに2人、それ以上の児童が利用する際には児童5名につき職員を1人ずつ増員するよう定められており、基準配置以上の職員がおります。	今後も職員間で話し、児童の特性に応じて可能な範囲で改善を図り、より良い環境づくりに努めてまいります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		分かりやすく構造化された環境に配慮しておりますが、付加価値をおこない、安全面に配慮しております。	今後も職員間で話し、児童の特性に応じて、可能な範囲で改善し、より良い環境づくりを目指してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		毎日、掃除機や床拭き、机などの消毒をおこない、清潔を保つように努めております。また、部屋に空調を完備しており、緩やかな湿度調整や定期的な換気をおこない、心地よく過ごせる環境を整えております。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		必要に応じて個別の部屋に移動したり、パーテーションを使い空間を区切って集中できる環境を整えております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	7		定期的にリフレクション会議をおこない、職員が意見を話し合う機会を設けております。会議の内容は議事録を作成し、情報共有に努めております。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		アンケートのご意見やご要望に関しましては、職員間で情報共有し、迅速に対応できるように心がけております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		業務開始に合わせて一日の流れや療育内容の確認を職員全員でおこなっております。また、月1回のリフレクション会議で業務について振り返りをおこない、意見を出し合っております。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		現時点では第三者評価は実施できておりません。	第三者による外部評価については今後の課題として検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		全ての職員での集合研修は、時間や人員配置の問題があり実施が難しいため、動画による社内研修をおこない、資質向上に努めております。また、Zoom等で外部研修に参加し、参加した職員から情報共有をおこなっております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		公式Webサイトにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		より良い支援のためにアセスメントを適切におこない、しっかりと保護者様から情報を聞き取り、記録し、支援計画作成に活かしています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		個別支援計画作成前には児童発達支援管理責任者を中心に会議をおこない、対象児童について話し合い、共通理解の元検討をおこなっております。	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		一人ひとりの支援計画内容は、全職員に周知・共有し、個別の計画に沿った支援を提供しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察など含むインフォーマルなアセスメントを使用する観により確認しているか。	7		標準化されたアセスメントシートを使用し、状況の把握に努めています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		各支援内容また児童・保護者様に必要な支援内容を選別し、その時の児童の様子・保護者様の以降に沿った具体的な支援内容の提供をおこなっております。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動内容に関しては、児童の特性・現状と記録を参考に、児童発達支援管理責任者や管理者をはじめ、すべての職員でアイデアを出し合い、プログラムを立案しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		児童の状況に合わせて、個別療育の他、季節に応じたイベントや製作・集団活動も取り入れ、活動が固定化しないように工夫しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		児童の課題に合わせて個別活動と社会性を育むため集団活動も組み合わせながら目標設定をおこない、支援計画を作成しております。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日職員間での打ち合わせにて、その日の役割分担や環境設定をおこなっております。また、ホワイトボード等に可視化し共通認識を持って支援にあたるよう情報共有をおこなっております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後には職員間で振り返りをおこない、その日の支援内容や気づきについて共有しております。記録作成時にも療育内容や課題について話し合い、重要事項については適宜ミーティングを開催し、情報共有を徹底しております。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援記録は担当した職員が責任をもって作成し、変化や気づきがあった際には速やかに職員間で共有しております。記録をもとに支援の検証・改善につなげております。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを実施し、児童の様子や成長、変化を踏まえながら児童発達支援管理責任者を中心に支援計画の見直しをおこなっております。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参加しているか。	7		サービス担当者会議や関係機関との会議には、児童の状況を十分に理解している児童発達支援管理責任者が参加しております。会議内容は事業所へ持ち帰り、職員間で共有しております。	
	関係機関や保護者との連携	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		必要に応じて、各種関係機関と連携に努め、情報共有をおこなっております。
26		併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		併行利用や移行に向けて、保護者様のご意向を確認したうえで関係機関と連携を図っております。担当者会議や送迎時の情報交換を通して、支援内容の共有と相互理解に努めております。	
27		就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	3	就学や進学の際には、保護者様のご意向を確認したうえで、進学先と情報共有をおこない、円滑な移行ができるよう努めております。	
28		(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
29		質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
30		(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31		(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイザーや助言等を受ける機会を設けているか。	7		現在、児童発達支援センターや関係機関との十分な連携にはいたっておりません。	今後は、必要に応じて連携体制の構築を検討してまいります。
32		保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		個人情報保護の観点から、地域の他のこどもとの交流機会は設けておりませんが、保護者様のご意向を踏まえながら、今後必要に応じて検討してまいります。	児童の現状や保護者様のご意見を踏まえ、交流等の機会を検討してまいります。
33		日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		連絡を通して療育の様子をお伝えし、療育中に見つかった課題などについて送迎時や家族支援時に情報共有に努めております。保護者様とのこまめな情報共有を図り、よりよい支援につながるよう努めてまいります。	
34		家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	5	保護者様からのご相談に対して、児童の様子や発達段階を踏まえた助言をおこなっております。また、必要に応じて具体的な関わり方等のご提案ができるよう努めてまいります。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に運営規程や利用者負担等について丁寧に説明しております。また、質問やご不明な点がないか確認しながら進めております。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、児童にとって最善の利益を優先し考慮する観点も踏まえ、児童や家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		支援計画を作成する際は、児童や保護者様の意思の尊重、児童にとって最善の利益を優先し考慮する観点も踏まえ、児童や家族の意向を確認する機会を設けています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		児童発達支援計画を示しながら支援内容の説明をおこない、保護者様から児童発達支援計画の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言・支援をおこなっているか。	7		家族からの子育てに関する悩み適切に対応し、面談や必要な助言・支援をおこなっております。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		現在父母の会の活動はありませんが、必要に応じて開催を検討し、支援していきたいと考えております。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		日々の利用に関するご意見やご相談については、迅速に対応できるように配慮しております。苦情へのご相談窓口も設けており、契約時にご説明しております。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		季節ごとのCOMPASSだけでなく毎月の事業所だよりを発行し、公式Webサイトで最新情報の掲載や、事業所の活動をブログで紹介しております。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		個人情報の使用や使用後の処理、保管については細心の注意を払い、鍵付きの書庫にて厳重に保管しております。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		児童や保護者様との意思疎通や情報伝達について、特性や状況に応じた必要な配慮をおこなっております。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		今年度は実施しておりませんが、今後は安全面や保護者様のご意向を踏まえ、可能な範囲で検討してまいります。	今後は安全面や保護者様のご意向を踏まえ、可能な範囲で検討してまいります。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		事故防止、緊急時対応、防犯、感染症対応等の各種マニュアルを策定し、職員へ周知するとともに、保護者様にも必要に応じてお知らせしております。また、発生を想定した訓練を定期的に実施しております。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な地震・火災・風水害を想定した訓練を実施しているか。	7		業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な地震・火災・風水害を想定した訓練を実施しております。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		アセスメント時に保護者様に必ず確認し、職員間で共有しております。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーについては初回アセスメント時に保護者様へ確認をおこない、利用児童の情報を全職員で共有し、医師の指示がある場合はその内容に基づき適切に対応しております。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		年間計画を立て、事業所の点検や避難訓練をおこなっております。また、安全計画を全職員が周知できよう、会社が作成した研修や訓練をおこない、万が一の際には安全計画に沿って行動できるよう努めてまいります。	
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		災害時の避難所や児童の受け渡し場所、連絡先等について保護者様へお知らせしております。また、安全計画の内容や各種対策についても周知に努めております。		
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業所内外で発生した事例を記録し、定期的に振り返りをおこないながら、職員間で情報共有と認識の統一を図り、再発防止に努めてまいります。		
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		虐待防止委員会を設置し、虐待防止研修および身体拘束適正化研修を実施し、全職員が受講しております。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		利用契約書には身体拘束の禁止を明記しており、生命または身体を保護するためにやむを得ず身体拘束をおこなう場合は、事前に文書により保護者様の同意を得たうえで、児童発達支援計画に記載することとしております。		